

経営(継業)のツボ



転期に立つ経営の視座②

将たる者の条件

早川浩士

有限会社ハヤカワプランニング代表取締役



はやかわ・ひろし
経営コンサルタント。1991年に独立。
介護事業に関する独自の調査に基づいたデータ分析を各誌・紙に発表。著書に『99の言葉の杖』(日本医療企画)、『早川浩士の常在学場』(筒井書房)、『介護人材創造塾』(筒井書房)、『介護保険改正に勝つ!経営』(年友企画)、『データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望』(日本医療企画)など。
http://www.hayakawa-planning.com
ブログ: http://ameblo.jp/hayakawa-planning/

将の器量と6つのランク

諸葛孔明は将帥論で、将帥には

6つのランクがあると述べている。

1 十人の将 腹黒い人間を見分け、危機を未然に察知し、よく部下を統率する事が出来る。

2 百人の将 朝早くから夜遅くまで任務に精励し、言葉遣いも慎重である。

3 千人の将 曲がった事が嫌いでも、思慮に富み、勇猛かつ戦闘意欲が旺盛である。

4 一万人の将 見るからに猛々しく、内には満々たる闘志を秘め、しかも部下将兵の苦勞を思いやる心を持っている。

5 十万人の将 有能な人材を登用すると共に、自らは毎日、怠りなく修養に努める。信義に篤く寛容性に富み、どんな事態になっても心を乱さない。

6 天下万民の将 人々を愛し審議を持って近隣諸国を心服させる。天文、地理、人事の万般に通じ、すべての民から敬慕される。

介護職員の数が増えれば増えるほど、資質を高めなくては行かないのはリーダーの側にある。

孔明は、リーダーの資質は人の

数によって異なることを、6つのランクによって表したのである。

その資質は、器量と云い換えるとわかりやすい。それは、次の2点の間で問われているからに他ならぬからである。

①その地位、役目に相応しい能力や人柄のこと。だが、「リーダーとしての器量に乏しい」と、陰口を叩かれている人がいる。

②その人の才能や力量に対して周囲の人たちが「器量」を上げて「いる」と評価する使い方もある。

リーダーは、器量に乏しいと落ち込むのではなく、器量を上げるための具体的な努力(訓練)目標を明確化することが大切だ。

将帥の6ランクは、リーダーが備える資質(器量)の目安であるといつて過言ではない。

将の五強八悪

また孔明には、将は、こうあるべきと記した5カ条がある。

1 高節であること(節操を曲げない態度こそ、部下の奮起を促すことができる)

2 考悌であること(親に孝行で兄弟仲のよいこと)

3 信義を重んずること(信義を

重んじる気持があつて、初めて友人と交わることができる)

4 深く考えをめぐらすこと
これを「五強」という。
逆に、将は、こうしてはいけないと記した8カ条もある。

1 謀に欠け、是非の判断が下せない

2 礼に欠ける

3 政治能力に欠ける

4 経済力はあつても貧しい者を救済しようとしめない

5 知恵に欠ける

6 思慮に欠ける

7 榮達しても旧知の人々を推薦しようとしめない

8 戦いに敗れたとき、国民の非難にさらされること
これを「八悪」という。

多くの場合、こうあるべきだ、という項目を掲げることはいけませんが、こうしてはいけないう項目にまで深く立ち入ることのできる人や組織は少ない。だからといって「五強八悪」を強要しているわけではない。

なぜ? ののか。

どうして? ののか。
一歩踏み込んで考えてほしい。